

図書館だより

平成23年12月

主な内容

- 巻頭言……………1
- 暮らしに役立つ図書館講座……………2
- ホームページをリニューアルしました…2
- 「雲州松平家文書」を設置しました…2
- 全国図書館大会島根大会……………2
- 館内展示コーナー……………3
- レファレンス事例検索……………3
- この本いいよ！・クリスマス会……………4

※行事予定は、カウンターでお渡しします。

島根県立図書館報 第195号

おはなしレストラン、ただいま開店中!

島根県立大学松江キャンパス
おはなしレストラン担当
岩田 英作

島根県立大学松江キャンパスでは、学生の総合的な人間力の育成を目標に、絵本の読み聞かせを取り入れた教育を始めて6年になる。この取組を総称して「おはなしレストラン」と呼んでいる。宮沢賢治が自分の書いた童話を「すきとおったほんとうの食べ物」と呼んだのに困んで付けた名である。

学生たちは、キャンパス近隣の幼稚園や小学校に出かけて子どもたちの前に立つ。開いた絵本から、おはなしの世界が立ちあがり、子どもたちが目を輝かせて身を乗り出す。読み手である学生にとっても、至福の瞬間である。そのかけがえのない瞬間のために、学生たちは丹念に絵本を選び、読みに磨きをかける。

1台のスチール棚に絵本を少しずつ買いたため続けてきたこの取組は、平成21年度に文部科学省から優れた大学教育として認められ、それを契機に活動の幅を格段に広げることができた。

その一つは、「出前シェフ」である。絵本を携えた学生たちが10人乗りのバン「おはなしレストラン号」に乗り込み、要望のあった地域・施設に向いて読み聞かせを行うというものだ。初めての場所で初めての子どもたちを対象に行うことが多く、ドキドキワクワクたっ

ぷりのライブ活動である。

そしてもう一つは、絵本を中心とする児童書専門の図書館「おはなしレストランライブラリー」の開設である。松江キャンパス体育館1階にあり、館というより室と呼ぶにふさわしいささやかなライブラリーだが、スチール棚一台の頃を思うと、まるで夢のようである。学生の読み聞かせの資源として活用するのが第一義であるが、平成23年4月には一般向けにオープンし、貸出も行なっている。木のぬくもりと二人の司書の人柄がマッチして、来館者の皆さんには、きっとホッコリしていただけたと思う。毎週日曜日には学生による読み聞かせも行なっているので、多くの方々にぜひ足を運んでいただきたい。



平成24年10月25・26日
全国図書館大会島根大会(松江市) 開催!

「法テラス島根講演会～今年の冬は県図書館で法律にちょっと触れてみませんか?～」 開催のお知らせ

第1回 平成24年1月28日(土)
「民法ってどんな法律?
～民法改正の動向をふまえて～」

第2回 平成24年2月26日(日)
「もしあなたが裁判員に選ばれたら
～刑事裁判のしくみを知る～」

第3回 平成24年3月24日(土)
「悪徳商法にだまされるな!
～消費者を守る法律を知る～」

内 容 身近な話題からやさしく法律を学びます。
日 時 いずれも午後1時30分から午後3時30分まで。
場 所 島根県立図書館 1階 集会室
講 師 法テラス島根常勤弁護士 柴山慶太氏
申込先 法テラス島根(当日参加も可能です)
その他 参加無料



問い合わせ先 法テラス島根(電話 0503383-5500)
島根県立図書館(電話 0852-22-5733)

ホームページを リニューアルしました!!



見やすく、使いやすくなった当館の
ホームページをどうぞご利用ください。

イベントなど最新
情報の案内のほか、
web-opac(蔵書検
索)、横断検索(県
内図書館蔵書検索)、
web予約サービスな
どもご利用いただけます。



「雲州松平家文庫」を設置しました

雲州松平家は、初代直政公から幕末までの230年間藩主
として松江藩を統治していました。

このたび第15代当主直壽氏なおとしから、家伝の系図や年譜家
譜など43点の資料が寄贈されました。

大正から昭和初期にかけて、第13代当主直亮氏なおあきより寄贈
の歴代藩主が収集した歴史書や古典籍など約2,500点の資
料とともに「雲州松平家文庫」として保存し、今後デジタ
ル化し館内で閲覧ができるようにする予定です。

全国図書館大会島根大会

<大会テーマ>

文化を伝え未来を創る図書館 -古事記編纂1300年 神々の国しまねから-

<記念講演講師>

玄田 有史 氏 (げんだ ゆうじ)

【講師プロフィール】

東京大学社会科学研究所教授。専門は労働経済学。松江市出身。

【主な著作等】

『ニート——フリーターでもなく失業者でもなく』(幻冬舎)の出版によりニート問題の第一人者として知られる。2005年から東京大学社会科学研究所の全所的プロジェクトである希望学(希望の社会科学)のリーダーとして活動。宇野重規氏、中村尚史氏らと、希望の思想研究の他、岩手県釜石市における地域調査などを実施し、2009年に『希望学』全4巻を刊行。著作に『仕事の中の曖昧な不安』『ジョブ・クリエイション』『希望の作り方』など。

館内資料 展示コーナー

お勧め
したい本

県立図書館では毎月テーマを決めて資料の展示を行っています。9月から11月に展示した資料の中から、皆さまに是非読んで頂きたい本を紹介しします。
※展示リストはホームページからもご覧になれます。
※URL: <http://www.lib-shimane.jp>

9月テーマ 女性の時代

『青鞥 第1巻第1号 (『日本の婦人雑誌』所収)』 大空社 1986年刊
「元始、女性は太陽であった。」という平塚らいてうの言葉はよく知られていますが、「真正の人であった。今、女性は月である。」と続いています。若干16頁の文章に、自由解放という強いメッセージが込められています。

『青鞥 人物事典 らいてう研究会編』 大修館書店 2001年刊
『青鞥』関係者110人の紹介を主とする本書は、『青鞥』創刊90周年を記念して刊行されました。用語解説、関係者出生地、歌人系譜図、記念館案内、個人別参考文献一覧等を収録し、充実した資料です。

10月テーマ 遍路

『秘仏への旅 出雲・石見の観音巡礼』 島根県立古代出雲歴史博物館・島根県古代文化センター／編集・発行 2008年刊
島根県立古代出雲歴史博物館において2008年に開催された企画展の図録です。出雲・石見における巡礼の歴史を知ることができ、カラー写真で紹介されている各寺院の観音菩薩像は見応えがあります。

『娘巡礼記』 高群逸枝／著 岩波書店 2004年刊
時は大正7年、一人で旅をする女性はもの珍しい目で見られる時代。職も食も愛する人も失った24歳の高群逸枝は、捨身の巡礼に出かけます。観光要素も含む頃来の四国遍路とは異なり、当時の遍路の生々しい実態が描かれた手記です。

11月テーマ 島根スサノオマジック選手おすすめの本

『スラムダンク勝利学』 辻 秀一／著 集英社インターナショナル 2000年刊
著者はスポーツ医学を専門としていて、山本エドワード選手おすすめの本・人気バスケ漫画『スラムダンク』をテキストにして、人生やスポーツに勝つためにはどういう心理が必要かわかりやすく解説しています。

『日本男児』 長友佑都／著 ポプラ社 2011年刊
キャプテン 曳野康久選手のおすすめの本です。世界一のサッカークラブチーム・インテルで活躍する長友選手。大学時代にレギュラーになれず、サイドバックへ転向し、着実な努力を積み重ねて世界で成功をおさめます。長友選手の言葉は、私たちに夢を実現する勇気をあたえてくれます。

レファレンス事例の検索ができます！



県立図書館ホームページから参考資料室にアクセスすると、これまで島根県立図書館に寄せられたレファレンス事例を閲覧することができます。調べたい事があれば、まずは検索してみてください！

TOP 総合案内 利用案内 資料の紹介 図書館概要 交通アクセス

トップ > 参考資料室ビジネス支援 > レファレンス検索

所蔵資料 簡易検索 検索

レファレンス事例検索

このデータベースは、島根県立図書館に寄せられたレファレンスをまとめたものです。
調べたい事例についてのキーワードをいれて検索してください。
(例: 教科書、野菜、カメラ...など)

事例全件検索

島根県立図書館の事例すべてを見ることができます。
キーワードでうまく探せないときはこちらをご覧ください。

例えば「紙」と入力して検索すると…

【国民一人当たりの紙の年間消費量が知りたいという事例を発見!!】



質問: 国民一人当たりの紙の年間消費量が知りたい
回答: 08年(平成20年)の1人当たり消費数は、「238.6kg」
参考資料『日本印刷年鑑 2010』日本印刷新聞社

実際の回答ではインターネット情報も掲載していますので
アクセスしてみてください！

『この本いいよ! ~島根の高校生・高専生おすすめの一冊~』を展示しました!!

県内の高校生・高専生のみなさんからおすすめしたい本の紹介コメント・イラストの投稿を募集したところ、今年は171点の投稿があり、うち20点を本と一緒に展示しました。話題の作品から長く読み継がれている作品まで、様々なジャンルの本が紹介され、多くの来館者が投稿作品と本を手にとる光景が見られました。

◀投稿作品より(一部抜粋)▶

◇『手紙』東野圭吾著

兄への感謝と悲しみが、何度も夢や将来をねじ曲げられることで憎しみへと変化していくところが切ない…(2年女子)

◇『校長だより 続 よぶこえ』中村清志著

時に私達を励まし、考えさせ、そしてそっと大切な事を教えてくれる、先生の愛がこもった私達生徒自慢の校長だより。(3年女子)



『図書館戦争』有川浩著(2年男子)

クリスマス会



日時 平成23年12月24日(土) 14:00~15:00

場所 島根県立図書館 集会室

- 内容**
- (1) ハンドベル「もみの木」
 - (2) 大型絵本「バスでおでかけ」
 - (3) 紙芝居「おおきくおおきくおおきなあれ」
 - (4) エプロンシアター「ジャックと豆の木」
 - (5) 人形劇「まんまるパン」
 - (6) うた「あわてんぼうのサンタクロース」

対象 幼児、小学生低学年(参加自由、無料です。)

問い合わせ先 島根県立図書館こどもつ：Tel(0852)22-5746

開館日カレンダー



平成23年、24年

12月 展示：大正時代を知る

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月 展示：トイレ・便所・廁

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月5日は開館します

2月 展示：森鷗外生誕150年

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

■黒字…9:00~18:00 ■青字…9:00~17:00
■赤字…休館日

読書普及指導員を派遣します

保護者参観や職員・ボランティアの方の研修会等で、親子読書や読み聞かせの基本的な考え方やポイントなどお話しします。
お問い合わせ 子ども担当(0852-22-5746) または 西部読書普及センター(0855-23-6785)まで。

お近くの市町村図書館を通して貸出します

すべての県民の皆さんに県立図書館の資料を利用してもらうため、市町村の図書館などを通して資料の貸出を行っています。
①県立図書館に求める資料があるかどうかは、インターネットの蔵書検索(県立図書館HP)や、電話での問合せ(0852-22-5748)またはお近くの市町村図書館までおたずねください。
②借りたい資料が決まりましたら、お近くの市町村図書館(図書館未設置の5町村は中央公民館等)へお申込みください。週1回市町村図書館等へ発送します。

郷土資料収集のお願い

島根に関する資料(古いものも、新しいものも)を収集・保存しています。ご寄贈、情報のご提供をお願いします。

利用案内

- 開館日時間 火曜日~金曜日 3月~10月 9時~19時
11月~2月 9時~18時
土曜日・日曜日・祝日 通 年 9時~17時
- 休館日 毎週月曜日(祝日にあたる時は開館)・第1木曜日の年末年始 12月28日~1月4日・特別整理休館

※詳しくは開館日カレンダーをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.lib-shimane.jp>
編集発行 島根県立図書館 〒690-0873 松江市内中原町52
TEL 0852-22-5733 FAX 0852-22-5728

発行日 平成23年12月1日